

S.T.E.P 札幌データセンター

S.T.E.P SAPPORO DATA CENTER

**私たち北海道総合通信網株式会社（略称:HOTnet）は、
インターネットをはじめとする各種のネットワークサービスや
クラウドサービスなどを提供する通信事業者です。**

1989年の会社設立以来、自らの光ファイバネットワークを基盤とした

法人さま向けの専用回線サービスの提供を開始。

以来、時代の流れやお客さまのニーズに即した各種の通信サービス、

ホスティングサービス、クラウドサービス、システム構築・運用支援などのメニューを取り揃え、

これらを組み合わせたトータルなソリューションを提供し、

北海道内外の多数の自治体・民間企業さまにご利用いただいております。

不測の事態にそなえた事業継続性の向上やガバナンスの強化といった観点から、

組織における効果的で安定的なITシステムの運用に対する重要度はますます高まっており、

事業基盤の強固さを左右する課題となっております。

当社では、こうしたお客さまの課題解決のため、

通信事業者としてこれまでに培ってきたノウハウを余すところなくサービスに注ぎ込み、

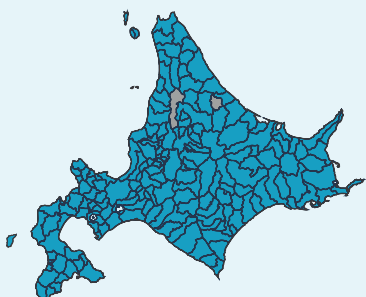
いま、そして、これからの時代に対応した信頼性と最新の技術、

サービス品質の高さでお客さまのニーズにお応えします。



HOTnet について

[会社概要]

社 名	北海道総合通信網株式会社 (略称: HOTnet) Hokkaido Telecommunication Network Co., Inc.	株 主	北海道電力株式会社				
本社所在地	〒060-0031 北海道札幌市中央区北 1 条東 2 丁目 5 番 3 塚本ビル北 1 館	売 上 高	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
設 立	1989 年 4 月 1 日		13,122	13,177	13,029	12,979	13,525
資 本 金	59 億円		※記載の金額の単位は百万円				
事 業 目 的	1. 電気通信事業法に基づく電気通信事業 2. 電気通信設備およびこれに附帯する設備の工事ならびに保守 3. 電気通信および情報処理に関する機器ならびにソフトウェアの開発・製作・販売・賃貸 4. 前各号に関するコンサルティング 5. 前各号に附帯または関連する一切の事業	役 員	取締役社長 常務取締役 常務取締役 取 締 役 取 締 役 取締役 (非常勤)	古郡 宏章 戸賀 瀬 薫 佐藤 哲 夫 稲村 栄 中田 智弘 原田 憲 朗	常勤監査役 監査役 (非常勤) 監査役 (非常勤) 上席執行役員 執 行 役 員 執 行 役 員 執 行 役 員	川村 純一 大野 浩 目黒 友悟 勢田 直成 林 秀 博 馬場 聡 武藤 光海	
業 務 区 域		従 業 員 数	246 名 (2020 年 4 月 1 日 現在)				
カ バ ー 率	市 町 村 98.9% ※1 事業所 99.9% ※2 (2020 年 3 月 31 日 現在) ※1 北海道内 179 市町村のうち 177 市町村 (35 市 128 町 14 村) ※2 「平成 21 年経済センサス・基礎調査 (基本集計 - 北海道分・確報)」 (総務省統計局) 第 34 表 事業所で行っている産業 (大分類)・経営組織 (5 区分)・本所・支所 (3 区分)・従業員規模 (8 区分) 別全事業所数、男女別従業員数および 1 事業所当たり従業員数 - 都道府県、市区町村の民営および国・地方公共団体 30 人以上の事業所による	事業所一覧	本社 〒060-0031 北海道札幌市中央区北 1 条東 2 丁目 5 番 3 塚本ビル北 1 館 TEL(011)590-5200 FAX(011)590-5339 旭川サービスセンター 〒070-0034 北海道旭川市 4 条通 12 丁目 1444 番地の 1 北海道電力 (株) 旭川支店 3F TEL(0166)23-1150 FAX(0166)23-1190 帯広サービスセンター 〒080-0015 北海道帯広市西 5 条南 7 丁目 2-1 北海道電力 (株) 帯広支店 5F TEL(0155)21-8133 FAX(0155)21-8185 函館サービスセンター 〒040-0033 北海道函館市千歳町 25 番 15 号 北海道電力 (株) 函館支店 4F TEL(0138)22-5052 FAX(0138)22-5088				

[企業理念]

- 01 私たちは、北海道を基盤としつつ、あらゆる地域を身近に結び、いつでも人と人との心をコミュニケーションすることにより豊かな社会作りを実現します。
- 02 私たちは、お客さまの視点で考え、知恵と工夫により新しい試みに取り組み、お客さまからご満足いただけるサービスをご提供します。
- 03 私たちは、自由闊達で風通しのよい職場風土を支えに、進取の気性に富んだ社員の育成と成長に日々取り組み、社員、家族が安心できる働きがいのある職場作りを目指します。
- 04 私たちは、法令や倫理規範を遵守して公正な企業活動を行い、企業市民としてその社会的責任を果たした行動をとり続けます。

平成20年4月1日制定

[沿 革]

1989 年	4月1日	会社設立 (資本金3億円)	2006 年	3月1日	北海道電力株式会社の完全子会社
1990 年	5月1日	専用サービスの提供開始		12月2日	VPNサービス「HOTCN マネージドVPN」の提供開始
1997 年	3月1日	超高速デジタル伝送サービスの提供開始	2007 年	2月16日	ネットワークソリューションブランド「S.T.E.P」の設定
	4月1日	電力系地域通信会社9社、相互連係による全国サービス (専用サービス) の提供開始	2009 年	2月3日	ホスティングサービスQuickSiteの 新バージョン「S.T.E.P QSG3」サービスの提供開始
1998 年	10月1日	ATM専用サービスの提供開始 インターネット接続サービス「HOTCN」の提供開始		9月30日	クラウドコンピューティングサービス「S.T.E.P SC2」の提供開始
1999 年	7月1日	ハウジングサービスの提供開始	2013 年	5月7日	「S.T.E.P クロスファンクションサービス」の提供開始
2001 年	3月20日	広域イーサネットサービス「L2L」の提供開始	2014 年	12月15日	「S.T.E.P トータルサポートサービス」の提供開始
2003 年	1月17日	ホスティングサービス「HOTCN Quick Site」の提供開始	2016 年	8月22日	「S.T.E.P プライベートクラウドサービス」の提供開始
	2月28日	ISMS適合性評価制度に基づく認証 (認証基準 Ver.1.0) の取得	2017 年	9月1日	「S.T.E.P 札幌データセンター」の提供開始
	4月1日	FTTH/FWAサービス「HOTCN warp」の提供開始			
	8月1日	バーチャルプライベートネットワークサービス「HOTCN VPN」の提供開始			
	9月1日	ネットワーク監視サービス「HOTCN StatView」の提供開始			
	12月1日	映像配信サービス「HOTCN Streaming」の提供開始			

より確かに、より安心に、より便利に。

S.T.E.P 札幌データセンター

大規模な自然災害の発生や、さまざまなトラブルに起因する

情報システム停止による機会損失。

「S.T.E.P 札幌データセンター」は、こうしたリスクや脅威から、

お客さまの IT 資産を守り、利便性を追求するため、

充実した都市機能に恵まれ、自然災害発生時の影響が低い札幌を拠点としました。

アクセスにも便利な立地環境と最新鋭の設備、

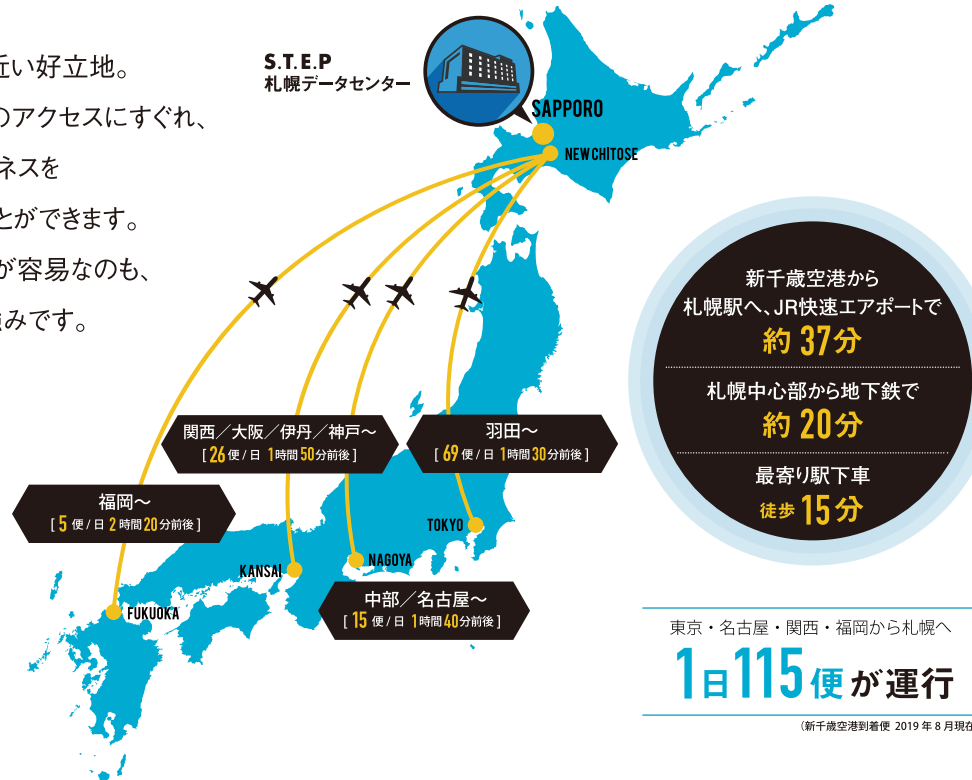
そして、当社が磨き上げてきた安定運用のための確かな技術で、

データセンターの活用を中心としたトータルソリューションによる

ベストプラクティスを提案いたします。

データセンターの好適地・札幌

札幌の都心にほど近い好立地。
国内主要都市からのアクセスにすぐれ、
出張などの際もビジネスを
スムーズに進めることができます。
現地での人材確保が容易なもの、
都市圏ならではの強みです。



- ◆首都圏から札幌までは約800km離れており、リスク分散のためのバックアップ拠点として、たいへん有効です。
- ◆IT企業が多く、IT系の人材育成機関も充実。現地要員としての人材確保を容易におこなえます。
- ◆国内メーカーやシステムインテグレーターの営業拠点・保守窓口が多数所在。遠隔地からも安心してご利用いただけます。

災害リスクの低さ

自然災害の影響が少ない立地

「S.T.E.P. 札幌データセンター」の所在地は、地震や台風、津波など自然災害の発生を想定し、できるだけ影響が少ない立地を選定しています。



最も近い活火山から
(恵庭岳)

約 **25 km**



北海道における
台風の平年値※

1.8 回

※気象庁統計による1981年～2010年の30年平均。



ハウジングサービス

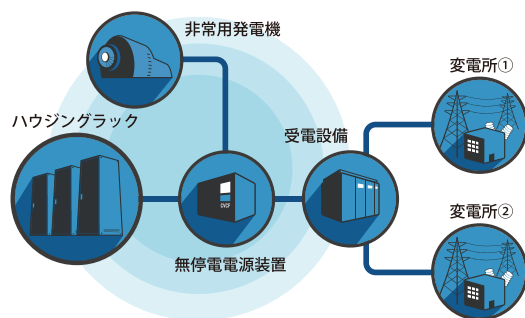
堅牢かつ最新鋭の機器と厳重な運用体制で、
お客さまの信頼に全力でお応えします。

災害リスクに備えた、信頼のハウジング環境

データセンター選定の必須条件は、
地震をはじめとする災害に堅固な強さを持っていること。
万一、停電になった場合の備えも欠かせません。
S.T.E.P 札幌データセンターは、あらゆる脅威に対応する
万全の体制を整えています。



安定的な電源供給体制



「S.T.E.P札幌データセンター」の6つのポイント

総床面積約 1,500 m²のハウジングスペースに、
42U サーバラック約 500 架を収容。

震度 7 クラスの地震にも耐える
強靱な免震構造

1 ラックあたり最大 20kVA の電源供給。
また、異なる変電所から、本線・予備線の
特別高圧 2 系統を受電。

72 時間無給油で連続運転が可能な
非常用発電機や無停電電源装置 (UPS) を完備。

東京～札幌間に 20Gbps の事業用バックボーン
ネットワーク (冗長構成) を用意。

運用サービスにより、お客さまの業務負担を軽減し、
効率的な運用体制の実現をお手伝いいたします。

Tier4※準拠のセキュリティ

24時間365日の有人監視体制に加え、ICカード認証、生体認証をはじめとした7段階セキュリティ。



※日本データセンター協会(JDCC)が制定した「データセンターファシリティースタンド」の中で定義されているデータセンターのサービスレベルを示す基準の最高値。

[施設概要]

所在地	札幌(最寄駅から徒歩15分圏内)	火災検知・消火設備	超高感度煙検知システム(VESDA)、窒素ガス消火
耐震基準	免震構造(総合耐震計画基準I類相当、震度7)	セキュリティ	センサー・カメラによる侵入監視、定期巡回、手荷物持込み制限
受電設備	異なる変電所から本線、予備線の特別高圧2系統受電	監視・運用体制	24時間365日の有人監視
UPS設備	N+1並列冗長システム	附帯設備	ワークスペース、ラウンジ完備、4tトラックが入庫可能なトラックヤード設置
自家発電設備	非常用発電機(N+1)、連続72時間無給油運転可能		
空調設備	冷水・水冷方式(フリークーリング併用)		

[ハウジングルーム仕様]

総床面積	約1,500㎡	通信回線	複数キャリア・複数経路による引き込み
エアフロー方式	冷暖分離(コールドアイルコンテインメント)床下冷風吹き出し	ハウジングルーム入室	複数人同時入室可能、人用・搬出入用ルート分離
巡回・点検	ラック内の機器・ケーブル類の装着状態およびラック内外の目視確認	ケーブル離隔	通信ケーブルと電源ケーブルを離隔
ラックの電源および温度計測	環境監視システムによるリアルタイム監視	入退室セキュリティ	非接触ICカード、生体認証(手のひら静脈)、共連れ防止、監視カメラ

[ラック基本仕様]

ラック規格	19インチ EIA規格 ユニバーサルピッチ	ラック扉	片開き(前面1、背面1)、電気錠(生体認証による制御)
電源	標準2系統給電(単相100Vおよび200V)	パッチパネル	外部と通信ケーブルを接続するためのパッチパネル(1U)を準備いたします。 ※ラック間接続や回線引き込み時にご利用いただきます。
電源コンセントバー	ラック背面の左右に標準2本設置(2系統電源)(フル:24口x2系統、ハーフ:12口x2系統、クォータ:6口x2系統)		

[ハウジングサービスメニュー]

項目		フルラック	ハーフラック	クォータラック
提供ラック	ラック規格	19インチ(EIA)		
	外寸	W:700mm / D:1,200mm / H:2,200mm	W:700mm / D:1,200mm / H:1,100mm	W:700mm / D:1,200mm / H:550mm
	有効マウントU数	42U	19U	8U
	鍵	生体認証による制御		
	前面扉・背面扉	片開き/メッシュ扉		
機器搭載可能重量 (重量が超過する場合は応相談)		500kg以下	200kg以下	100kg以下
標準電源		2kVA (最大電源容量:20kVA※1)	2kVA (最大電源容量:6kVA)	1kVA (最大電源容量:2kVA)

※1: 電源容量が10kVAを超過する場合は、事前協議の上での対応といたします。

[付加機能メニュー]

メニュー			仕様等
定期巡視 (ラック単位)	日次巡視	フル・ハーフ・クォータ	・1日1回巡視を実施いたします。 ・予め、お客さまによる作業手順書のご用意が必要です。
	週次巡視		・週1回巡視を実施いたします。 ・予め、お客さまによる作業手順書のご用意が必要です。
	月次巡視		・月日1回巡視を実施いたします。 ・予め、お客さまによる作業手順書のご用意が必要です。
リモートハンズ(ラック単位)			・電源 OFF/ON、LED ランプ確認、ケーブル抜き差し、ラック内状況撮影などを実施いたします。 ・予め、お客さまによる作業手順書のご用意が必要です。
クロスコネクト			・光ケーブルと UTP ケーブルの2種類からお選びいただけます。 ・結線作業は当社にて実施いたします。
レンタルロッカー			・マニュアルや記録媒体などの保管にご利用いただけます。
回線工事立会い代行			・当社以外の通信事業者による回線工事の立会いを代行いたします。 ・予め、お客さまによる作業手順書のご用意が必要です。



データセンターフロアガイド

お越しいただいたお客さまに、快適にお過ごしいただける洗練された空間と、
堅牢・安全なハウジングスペース。

エントランスフロア



◆インフォメーション

データセンターでお客さまをお迎えする受付カウンターです。
セルフ端末にて生体認証の登録手続きをおこなっていただくほか、各種の窓口となります。



◆ワークスペース

ラックマウントした機器の各種操作といった作業を行っていただく際にご利用可能なスペースを4
室用意し、100-200Vのコンセントやハウジングラックに続くイーサポートも完備しています。



◆ラウンジ

作業の合間にリフレッシュしていただくためのリラクゼーションスペースです。
ミッドセンチュリーモダンをテーマとしたインテリア、調度品に加え、大型ディスプレイやマッサージ
チェアをご利用いただけます。



◆監視室

当社スタッフが常駐し、データセンター内部をくまなくモニタリングいたします。
お客さまに安心して施設をご利用いただけるよう、ハウジングルームの温度管理、電源供給状況を
はじめ、あらゆる情報をモニターしております。

ハウジングフロア



◆前室

ハウジングルームへの入室に対するセキュリティ区画です。生体認証や画像解析などを駆使して
入退室をチェックし、ハウジングルームの安全を確保します。



◆ハウジングルーム

データセンターの中枢として、サーバやネットワーク機器など、
お客さまの大切な資産をお預かりするラック群が収容されたスペースです。



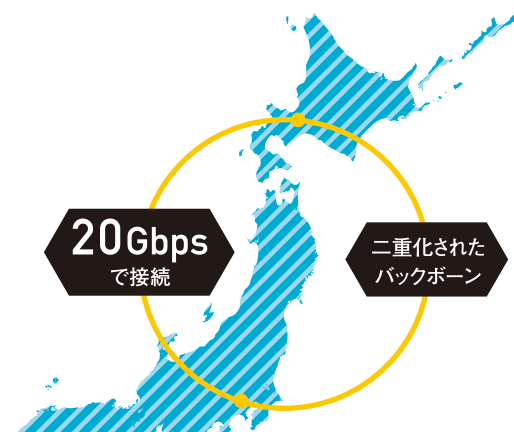
多様なネットワーク環境

用途に合わせてご利用いただける各種のネットワーク接続環境を用意しております。

距離をデメリットにしない

東京～札幌間のバックボーン回線

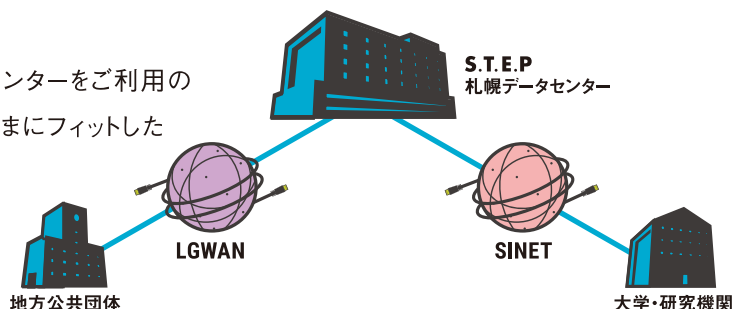
東京～札幌間を二重化した20Gbpsの事業用ネットワークで接続。
また、東京に当社へのアクセスポイントを構えております。
高速な通信環境が、距離をデメリットにしません。



LGWAN・SINET※との接続を実施

LGWANならびにSINETとの接続により、データセンターをご利用の自治体や大学などの教育機関・研究機関のお客さまにフィットしたIT環境が構築できます。

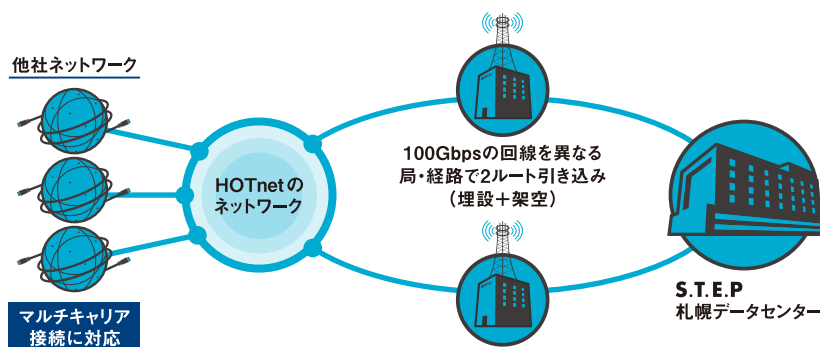
※LGWANは、総合行政ネットワークの略称で、地方公共団体内のLAN間を相互接続する行政専用のネットワーク。SINETは、学術情報ネットワークの略称で、日本全国の大学・研究機関等の学術情報基盤として、国立情報学研究所 (NII) が構築・運用している情報通信ネットワーク。



冗長化された通信環境や

キャリアダイバーシティの実現

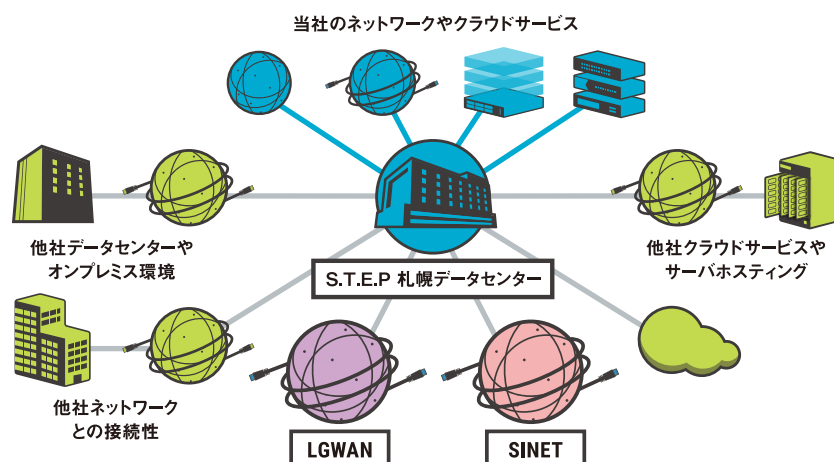
複数キャリア・複数経路による通信回線の引き込みで、信頼性の高い冗長化された通信環境やキャリア・ダイバーシティを実現。



クラウドサービスなどとも

柔軟に連携可能

当社や他社のクラウドをはじめとした各種サービスとの連携によるハイブリッド環境を実現可能。





ネットワークサービス

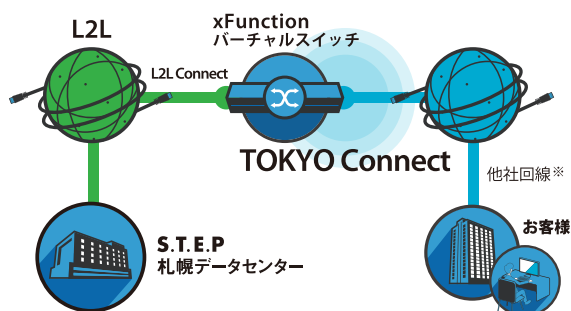
データセンターと組み合わせてお使いいただける、
多彩なネットワークサービスを提供いたします。

柔軟な運用スタイルで、多彩なソリューションを提供。

高速かつ高品質なネットワークサービスを用意しており、当社・他社のクラウドサービスなどとの連携もスムーズにおこなえます。さらに、お客さまのニーズに合わせて、当社だけでなく他社ネットワークサービスとの接続も可能です。

S.T.E.P xFunction | TOKYO Connect

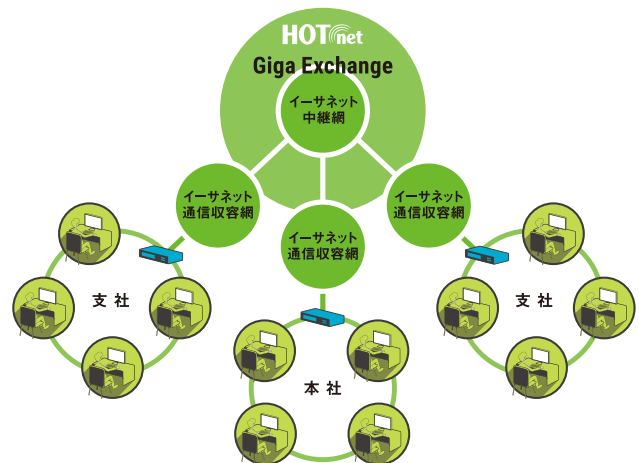
当社が指定する東京都内のアクセスポイントにて、お客さまにご用意いただいた回線と当社の S.T.E.P xFunction を 1Gbps (ベストエフォート) で接続するサービスです。
首都圏のお客さま拠点と「S.T.E.P 札幌データセンター」等のサービスとの相互接続性を提供いたします。
遠隔バックアップやリスク軽減のための分散配置などの用途にご活用ください。



※お客様とアクセスポイント間の回線を別途ご用意ください。

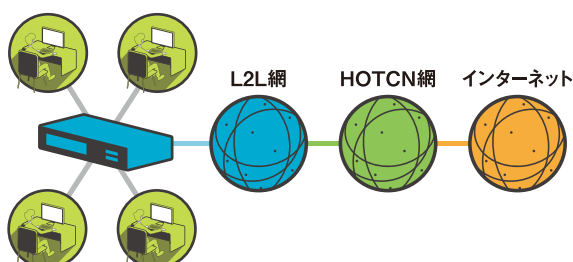
イーサネット通信網サービス L2L

HOTnet独自のイーサネット通信網を活用したサービスがL2Lです。多彩なプロトコルに対応し、各拠点間のLANを結んでWANを形成することができます。コストを抑えつつ、管理も容易。お客さまごとの完全なクローズドネットワークなので、セキュリティ面でも安心です。



インターネット接続サービス HOTCN

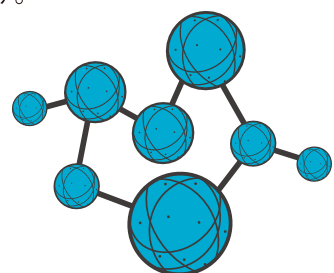
HOTCNは、HOTnetの高品質な光ファイバケーブル網をバックボーンネットワークとして、高速・広帯域のインターネット接続環境を提供するインターネット接続サービスです。イーサネットをアクセスラインとし、用途やご予算に合わせてお選びいただける帯域専有タイプや複数のお客さまで共用していただくタイプの品目などを用意しています。

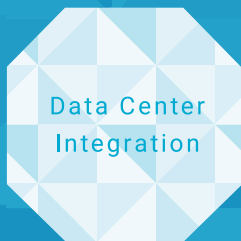


バックボーン接続先

HOTnetでは、以下の事業者ネットワークやIX(インターネット・エクスチェンジ)との相互接続をおこなっております。各相互接続先との通信帯域は北海道内のISPとしては最高水準のトータル20Gbpsとなり、多くのお客さまに快適なインターネット通信環境を提供しております。

KDDI
NTT Com (OCN/GIN)
SoftBank
JPIX
JPNAP
BBIX





データセンターインテグレーション

お客様のさまざまなニーズを満たす、
最適なソリューションを提案いたします。

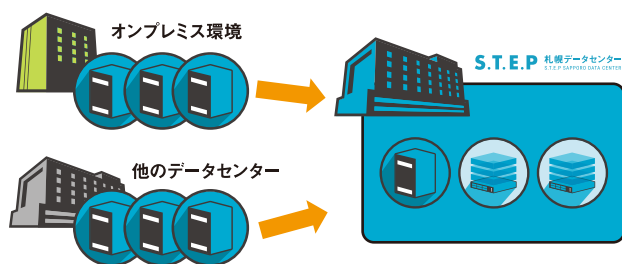
データセンター移設計画から実際の移設作業・運用まで、
すべての段階の実務を支援いたします。

企画／ コンサルティング	設計	移設／導入／ 環境構築	運用／保守	撤去／廃棄
◆現状のITインフラの評価・調査 ◆データセンター移設のコンサルティング ◆クラウドサービス活用のコンサルティング ◆BCP/DR対策のコンサルティング	◆データセンターにおける運用基盤設計 ◆ネットワーク設計 ◆クラウド環境の設計 ◆システムやデータのバックアップシステムの設計	◆機器搬入支援 ◆機器設置支援 ◆サーバ構築支援 ◆初期設定作業支援	◆定期的な巡視 ◆機器の状態監視 ◆各種作業代行 ◆定期レポート ◆障害発生時の一次対応	◆移設や撤去時の機器搬出支援 ◆データ消去 ◆ディスク破砕処分

データセンター活用ケーススタディ

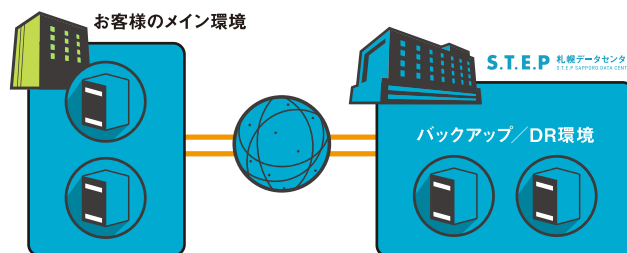
データセンターへの移行

オンプレミスまたは他のデータセンターで運用中のシステムを「S.T.E.P 札幌データセンター」へ移設するケース。業務スケジュールなど、お客様の要件を満たす安全な移行計画を当社が提案いたします。



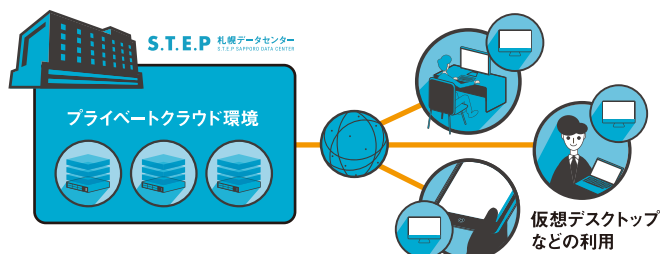
バックアップ／DRでのデータセンター活用

事業継続性を高めるうえで必要となるシステムやデータのバックアップ／ディザスタリカバリ(DR)環境としてデータセンターをご活用いただくケース。設計・環境構築・運用支援を当社がお手伝いいたします。



プライベートクラウドによる 仮想デスクトップ基盤の構築・運用

データセンター内にプライベートクラウドを構築し、仮想デスクトップ基盤として運用するケース。各種サーバのリソース配分やライセンス、ネットワークまでも含めた全体設計・構築を当社が支援いたします。



プライベートクラウドによる 自治体向け基幹システムの構築・運用

データセンターと自治体向けのネットワークサービスを組み合わせることで、自治体のセキュリティ対策にあわせたシステム運用基盤の構築を当社が支援いたします。





北海道総合通信網株式会社

〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東2丁目5番3塚本ビル北1館

TEL.011-590-6640 FAX.011-590-5325

<https://www.hotnet.co.jp/datacenter/>



SDC20200901